

Alfons Mucha

ポスター「椿姫」1896年
サラ・ベルナルのために
手がけた2作目のポスター

Alfons Mucha

ポスター
「スラヴィア保険会社」
1907年
チャールズ・R・クレインの娘
ジョセフィン・クレイン・
ブラッドレー

故郷への帰還と 祖国に捧げた作品群

- チェコに戻ったミュシャは、スラヴ民族としての誇りを胸に、スラヴの歴史や文化をテーマにした絵画《スラヴ叙事詩》の制作をはじめ、完成するまでに16年もかかりました。
- ミュシャは出会った女性たちをモデルとして描いてきましたが、晩年は娘ヤロスラヴァを描くことが多く、『スラヴ叙事詩展』のポスターも娘がモデルとなっています。(表紙参照)



ポスター「ヒヤシンス姫」1911年 チェコで制作されたポスター
チェコのサラ・ベルナルといわれた女優アンドゥラ・セドラー・チュコヴァー

Alfons Mucha's Women
ミュシャ展 運命の女たち

2019年11月23日(土・祝)～12月25日(水)

そごう美術館 [横浜駅東口 そごう横浜店 6階]
郵便番号 220-8510 横浜市西区高島2-18-1
電話 045(465)5515 (美術館直通)
<http://www.sogo-seibu.jp/common/museum/>

[編集・発行] そごう美術館 2019年11月



ポスター「《スラヴ叙事詩》展」(部分) 1928年
ミュシャの娘、ヤロスラヴァ



SOGO

横浜

www.sogo-gogo.com

写真

「スラヴ叙事詩」の最後に完成された作品および「スラヴ叙事詩展」のポスターのためのモデルとなるヤロスラヴァ(ズヒロフ) 1926年



Alfons Mucha's Women
ミュシャ展
運命の女たち

キリトリ

切り取ってお使いください。

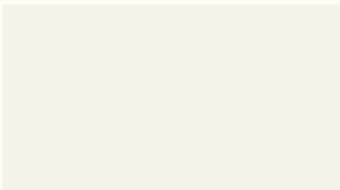
キリトリ

アルフォンス・ミュシャ (1860~1939)

現在のチェコ共和国
ラヴィア地方の小さな
街イヴァンチツェで
生まれたミュシャは子
どもの頃から絵が好き
でした。画家をめざし
て27歳でフランスのパ
リに向かいます。パリ
では花や女性をテーマにした華やかで優
美な作品が大人気となりました。「新しい
芸術」を意味する「アール・ヌーヴォー」を
代表する画家となったミュシャは50歳の頃、
チェコに戻り、祖国への想いをこめた作品
を制作し、故郷で79年の生涯を終えました。



写真「自画像(パリ)」
1898年



ポスター「黄道十二宮」1896年

渦巻く女性の髪や幾何学模様
に植物を絡ませた美しい作品は「ミュシャ様式」と
呼ばれました。

ミュシャが出会った女性たち

幼少期

芸術のはじまり

ミュシャは、初恋の人ユリエ・フィアロヴァー
(愛称ユリンカ)と出会います。彼女の面影をミュ
シャはいろいろな作品に残しています。また、
幼馴染の少女テレザ・トラブルもミュシャの描
く美しい女性像に影響を与えています。



素描「テレザ・トラブル」
1883年
幼馴染の少女



素描
「イヴァンチツェの思い出」
1903年
若き日の初恋の人、ユリンカ



ポスター「ジスモンダ」1894年